

# 令和3年度 外部点検 点検候補事業概要

**1市文化協会支援事業【商工労働部 文化振興課】**

事業期間	昭和 26 年度～	
事業内容	<p>地域に根ざした文化芸術活動団体で構成されている福井市文化協会を継続的に支援することにより、本市の文化芸術振興を推進する。なお、市文化協会の事務局を文化振興課に置く。</p> <p>○福井市民文化祭事業補助金 市文化協会加盟団体が日頃の成果を発表する市民文化祭開催のために、会場使用料相当額を補助する。</p>	
2年度実績	<p>○福井市民文化祭事業補助金 【内容】福井市民文化祭の概要 日程:11月3～4日 ・絵画・書道・いけばな等の展示、子ども展示、将棋大会を開催 会場:フェニックス・プラザ ・吟詠剣詩舞、洋舞、邦舞、箏曲等による芸能大会 会場:福井市文化会館 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため規模を縮小したほか、芸能大会は入場者数を制限して実施。 参加者:2,706人 【効果】市民に気軽に文化芸術に触れることができる場を提供することにより、本市における文化芸術活動の発展に寄与した。</p>	
その他	令和3年度予算額	令和2年度決算(見込)額
	1,300 千円 [内訳] ・福井市民文化祭事業補助金 1,300 千円	1,300 千円 [内訳] ・福井市民文化祭事業補助金 1,300 千円

## 2文化活動支援事業【商工労働部 文化振興課】

事業期間	平成12年度～	
事業内容	<p>NPO 法人 福井芸術・文化フォーラムが企画・運営するさまざまな文化芸術事業を支援することにより、市民の文化の意識を高揚し、文化活動を推進することで、本市の文化振興を図る。</p> <p>○福井芸術・文化フォーラム事業補助金</p> <p>NPO 法人 福井芸術・文化フォーラムが実施するさまざまな事業(舞台芸術鑑賞事業、市民の芸術文化企画を支援する事業、企画・運営・舞台技術などの担い手の育成事業、文化交流の促進事業等)を補助することにより、独創的で魅力的な事業が展開され、市民の文化意識の向上につなげる。</p>	
2年度実績	<p>○福井芸術・文化フォーラム事業補助金</p> <p>・市民の芸術文化企画を支援する事業「みんなで舞台にたとう！！シーズン15アゲイン」</p> <p>【内容】福井県内の特別支援学級や特別支援学校に通う児童生徒・卒業生らによる音楽・ダンス等の舞台発表を行った。ロビーでは15年間の活動の軌跡を紹介するパネル展示を行った。</p> <p>(開催日:3月21日 参加人数:328人)</p> <p>【効果】普段舞台芸術に触れる機会の少ない子供たちに舞台芸術に触れる機会を提供した。</p> <p>・企画・運営・舞台技術などの担い手の育成事業</p> <p>「Arts In Education～日本の音～」</p> <p>【内容】福井市内の小・中学校・特別支援学校に地元の和楽器専門家を派遣した。</p> <p>(開催時期:9月～12月 実施回数:15回 参加人数:1,027人)</p> <p>【効果】普段あまり触れる機会のない和楽器に接する貴重な機会となった。</p> <p>「次世代育成音楽プロジェクト」</p> <p>【内容】文化活動の企画や運営に携わる新たな人材育成を目的として、20～30歳代の若い世代の音楽家を中心としたプロジェクトとして企画を進め、福井市文化会館閉館記念イベントでメンバーの音楽家の編成による演奏を実施した。</p> <p>(開催時期:8月～3月 参加人数:22人)</p> <p>【効果】次世代の音楽家にイベント企画から演奏までの機会を提供することで、若手の育成につながった。</p> <p>「オブジェクトパフォーマンススクール」</p> <p>【内容】応募のあった市民によるパフォーマンスのワークショップと練習を実施し、福井市文化会館閉館記念イベントで成果発表を行った。</p> <p>(開催時期:9月～3月 参加人数:127人)</p> <p>【効果】参加者が相互協力しながら、作品を創作する機会を提供することで、活動の仲間を増やすことにつながった。</p> <p>・文化交流の促進 福井市文化会館閉館記念イベント「つなぐ」</p> <p>【内容】福井市文化会館が令和3年3月31日をもって閉館するにともない、舞台イベントを開催した。関連企画として写真家による文化会館各所の写真をフォーラムインスタグラムで公開した。</p> <p>【効果】文化会館の閉館に際し、活動を次の世代・時代につなぐという思いを共有できた。</p>	
その他	令和3年度予算額	令和2年度決算(見込)額
	11,500 千円 [内訳] ・福井芸術・文化フォーラム事業補助金 11,500 千円	11,500 千円 [内訳] ・福井芸術・文化フォーラム事業補助金 11,500 千円

**3市美展ふくい開催事業【商工労働部観光文化局 美術館】**

事業期間	昭和60年度～	
事業内容	<p>本市の美術文化の向上を図り、市民に親しまれる美術祭典となることを目的に、昭和 60 年から開催を続けている。市民による市民のための美術公募展として、全7部門(日本画、絵画・造形、彫刻、書道、工芸、写真、デザイン)による市民の作品発表と鑑賞の場を提供している。</p> <p>第 15 回展からは、市民参加による実行委員会に企画・運営を委託し、第 29 回展からは、それまで実行委員が兼務していた審査員を各々分けて、審査の透明性を高めるとともに、実行委員がより柔軟な発想で企画・運営に取り組める体制を整えている。そして第30回展からは、新たな企画として小さな作品展やワークショップを開催している。</p>	
2年度実績	<p>第 33 回市美展ふくい 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止。</p>	
その他	令和3年度予算額	令和2年度決算(見込)額
	5,000 千円 [内訳] ・委託料 5,000 千円	1,455 千円 [内訳] ・委託料 1,455 千円 (開催中止に伴う広報費など)

#### 4 美術館企画展開催事業【商工労働部観光文化局 美術館】

事業期間	平成9年度～																			
事業内容	<p>当館の常設展示作家である福井市ゆかりの近代彫刻家高田博厚(1900-1987 年)と関連する作家や作品のほか、高田が生きた近代(明治から昭和初期)や現代(第二次世界大戦以降)の美術を積極的に紹介するとともに、世代を超えて親しまれている作品を紹介するなど、多彩な企画展を年 4 回開催している。</p> <p>本事業は、鑑賞者一人ひとりに、あらゆる感覚的な刺激を与え、生きていく上での心の糧となるような重要な役割を担っており、観光の観点からも多くの来場者を誘客するため、作品解説会や創作体験など、各種関連イベントも多数開催している。</p>																			
2年度実績	<p>令和2年度 企画展入場者数・・・47,447人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催期間</th><th>企画展名</th><th>入場者の合計</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4/18～5/17 28 日</td><td>木梨憲武展 Timing-瞬間の光</td><td>中止</td></tr> <tr> <td>6/20～7/26 32 日</td><td>ひろしま美術館名品展</td><td>中止</td></tr> <tr> <td>8/7～10/11 58 日</td><td>藤城清治 光の世界メルヘン展</td><td>中止</td></tr> <tr> <td>2/19～3/28 33 日</td><td>MINIATURE LIFE 展-田中達也 見立ての世界-</td><td>47,447 人</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td></td><td>47,447 人</td></tr> </tbody> </table> <p>*新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、3 つの企画展が中止。</p>		開催期間	企画展名	入場者の合計	4/18～5/17 28 日	木梨憲武展 Timing-瞬間の光	中止	6/20～7/26 32 日	ひろしま美術館名品展	中止	8/7～10/11 58 日	藤城清治 光の世界メルヘン展	中止	2/19～3/28 33 日	MINIATURE LIFE 展-田中達也 見立ての世界-	47,447 人	合 計		47,447 人
開催期間	企画展名	入場者の合計																		
4/18～5/17 28 日	木梨憲武展 Timing-瞬間の光	中止																		
6/20～7/26 32 日	ひろしま美術館名品展	中止																		
8/7～10/11 58 日	藤城清治 光の世界メルヘン展	中止																		
2/19～3/28 33 日	MINIATURE LIFE 展-田中達也 見立ての世界-	47,447 人																		
合 計		47,447 人																		
その他	令和3年度予算額	令和2年度決算(見込)額																		
	30,860 千円 [内訳] ・旅費 132 千円 ・需用費 348 千円 ・役務費 1,144 千円 ・委託料 5,753 千円 ・使用料及び賃借料 0 千円 ・報償費 1,139 千円 ・負担金 22,344 千円	8,940 千円 [内訳] ・旅費 0 千円 ・需用費 46 千円 ・役務費 0 千円 ・委託料 1,249 千円 ・使用料及び賃借料 0 千円 ・報償費 1,123 千円 ・備品購入費 18 千円 ・負担金 6,506 千円																		

**5 美術館アトリエ開催事業【商工労働部観光文化局 美術館】**

事業期間	平成9年度～																
事業内容	<p>当館は、鑑賞だけでなく創作も同様に重視し、「みる」と「つくる」を一体化させた美術館を指向している。平成10年度から本格的に開催しているアトリエ事業は、自由な発想でつくることの楽しさを体験できる創作活動の場を、子どもから大人までの幅広い層に提供している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもアトリエ……年間9講座 事前申込・定員制 対象:4歳児～小学6年</li> <li>・市民アトリエ……年間9講座 事前申込・定員制 対象:中学生以上</li> <li>・共催アトリエ……随時開催可能 事前申込 対象:小学校PTA等の団体や子供会など</li> <li>・アトリエチャレンジ……土・日・祝、企画展開催期間(9時～16時半)随時参加可能 対象:どなたでも参加可能</li> </ul>																
2年度実績	<p>令和2年度 アトリエ参加者数……10,153人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>子どもアトリエ</th><th>市民アトリエ</th><th>共催アトリエ</th><th>アトリエチャレンジ</th><th>合計</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者(回数)</td><td>550人 19回</td><td>94人 7回</td><td>320人 11回</td><td>9,189人 14活動</td><td>10,153人</td></tr> </tbody> </table> <p>*新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、4月～5月まで休止。6月からアトリエチャレンジを再開し、その他の活動は8月末から順次再開。</p>						子どもアトリエ	市民アトリエ	共催アトリエ	アトリエチャレンジ	合計	参加者(回数)	550人 19回	94人 7回	320人 11回	9,189人 14活動	10,153人
	子どもアトリエ	市民アトリエ	共催アトリエ	アトリエチャレンジ	合計												
参加者(回数)	550人 19回	94人 7回	320人 11回	9,189人 14活動	10,153人												
その他	令和3年度予算額		令和2年度決算(見込)額														
	3,869千円 [内訳] ・報償費 2,085千円 ・旅費 0千円 ・需用費 1,733千円 ・役務費 51千円		3,881千円 [内訳] ・報償費 2,119千円 ・旅費 0千円 ・需用費 1,712千円 ・役務費 51千円														

## 6 愛宕坂歴史文化拠点活用事業【商工労働部 文化振興課】

事業期間	平成11年度～	
事業内容	<p>愛宕坂に位置する愛宕坂茶道美術館、橘曙覧記念文学館において、愛宕坂に関連した福井の歴史文化に触れる機会を提供することで、市民の文化教養の向上を図る。また、愛宕坂で一体的な事業を実施することで、賑わいを創出する。</p> <p>○愛宕坂にぎわい事業 愛宕坂を行灯でライトアップする「愛宕坂灯の回廊」に合わせて、愛宕坂茶道美術館や橘曙覧記念文学館でイベントを実施することで、まちなかエリアと足羽山エリアの回遊性を高める。</p> <p>○愛宕坂茶道美術館管理運営事業 愛宕坂茶道美術館の管理運営を行う。企画展・特別展や体験講座等を充実させることで、茶道文化や茶道文化の果たした歴史的役割について市民の理解向上を図る。</p> <p>○橘曙覧記念文学館管理運営事業 橘曙覧記念文学館の管理運営を行う。幕末の歌人で国学者の橘曙覧の業績を顕彰するとともに、企画展・特別展や史跡めぐり、講座等を充実させることで、郷土の文学活動の振興を図る。</p>	
2年度実績	<p>○愛宕坂にぎわい事業(新型コロナウイルス感染対策のため一部事業内容変更) 【内容】令和2年3月23日～4月3日(12日間)、愛宕坂及び横坂に行灯(和ろうそく)を140基設置した。 【効果】来場者数:1,161人</p> <p>○愛宕坂茶道美術館管理運営事業 【内容】企画展4回、体験講座を1回開催した。 【効果】入館者:4,385人</p> <p>○橘曙覧記念文学館管理運営事業 【内容】企画展3回、特別展1回、体験講座等4回を開催し、令和独楽吟事業を実施した。 【効果】入館者:5,058人、令和独楽吟の応募総数:8,229首 特別展「松本春野『Life』『モタさんの“言葉”』原画展」では、コロナ下にあっても過去最高の入込を記録した。</p>	
その他	令和3年度予算額	令和2年度決算(見込)額
	40,321千円 [内訳] ・愛宕坂にぎわい事業 4,081千円 ・愛宕坂茶道美術館管理運営事業 17,101千円 ・橘曙覧記念文学館管理運営事業 19,139千円	36,036千円 [内訳] ・愛宕坂にぎわい事業 2,764千円 ・愛宕坂茶道美術館管理運営事業 14,135千円 ・橘曙覧記念文学館管理運営事業 19,137千円

## 7 グリフィス記念館施設活用事業【商工労働部 文化振興課】

事業期間	平成27年度～	
事業内容	<p>グリフィス記念館において、福井藩のお雇い外国人牧師であったウィリアム・エリオット・グリフィスの功績を中心に郷土の歴史等を学ぶ場を提供するとともに、まちなか散策の拠点としてにぎわいを創出するための事業を行う。</p> <p>○グリフィス記念館管理運営事業</p> <p>グリフィス記念館の管理運営を行う。また、屋内での企画展等に加え、記念館前の広場を活用したイベントを実施する。</p>	
2年度実績	<p>○グリフィス記念館管理運営事業</p> <p>【内容】グリフィスの功績や福井での足跡、人柄等を解説する企画展を2回、企画展に関連した歴史講座や館の雰囲気を活かした体験講座を3回、愛宕坂茶道美術館及び橘曙覧記念文学館と連携したハロウィンイベントを1回開催した。例年実施していた音楽会や朗読会、広場等を貸し出してのにぎわいイベントについては、新型コロナウイルスの影響により中止となった。</p> <p>【効果】グリフィスを顕彰するとともに、まちなか文化施設としてにぎわいづくりに貢献した。</p> <p>入館者数:5,965人</p>	
その他	令和3年度予算額	令和2年度決算(見込)額
	12,691千円 [内訳] ・グリフィス記念館管理運営事業 12,391千円 ・グリフィス記念館企画展、イベント等開催費 300千円	11,160千円 [内訳] グリフィス記念館管理運営事業 10,986千円 ・グリフィス記念館企画展、イベント等開催費 174千円



# **8 郷土歴史博物館企画展事業【商工労働部 郷土歴史博物館】**

事業期間	平成29年度～	
事業内容	<p>毎年春・夏・秋の行楽シーズンにあわせ、福井の歴史・文化に関わるテーマで展覧会を開催することで、市民・県民が福井の歴史や文化について学べる機会を増やすとともに、対外的にも文化資源としての福井の歴史や文化財の魅力を発信し、観光誘客につなげていく。</p> <p>【令和3年度の企画開催事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○グリフィス来福 150 周年記念 令和3年春季特別展「グリフィスが見た明治の福井～The Mikado's Empire～」 明治初期の福井で最新の化学知識を教え、日本に関する著作を残した W・E・グリフィスの福井着任 150 周年を記念し、彼の業績と福井での足跡を振り返る。</li> <li>○令和3年夏季特別展「龍馬と福井」 龍馬と福井との関わりと、松平春嶽、中根雪江、由利公正といった龍馬と深く関わった幕末福井藩の人びとを紹介する。</li> <li>○令和3年秋季特別展「帰ってきた平家物語絵巻」 江戸時代に越前松平家が所蔵していた「平家物語絵巻」(林原美術館蔵)から名場面を一堂に展示する。</li> </ul>	
2年度実績	<p>郷土の歴史や文化への誇りを育み発信できるよう、定期的に様々な学問的分野から地域の歴史・文化に関する企画展を開催した。(企画展事業観覧者数合計 18,183 人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○令和2年春季特別展「明智光秀と越前～雌伏のとき～」 【内容】大河ドラマの主人公・明智光秀と越前の関係に迫った(3/20～4/3 開催)。 【効果】一般に関心が高い謎が多い人物の展示ということで話題となったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館に伴い、4/3 で終了。(2 年度観覧者数 81 人) ・一部再展示「明智光秀と越前」(12/19～2/14 開催、観覧者数 2,396 人)</li> <li>○令和2年夏季特別陳列①「東京 1964 こぼれ話」 夏季特別陳列②「福井藩と城下町」 【内容】①昨夏の「東京 1964」で紹介しきれなかった、エピソードを紹介(7/18～8/30 開催)。 ②親藩福井藩と城下町福井について各種資料を展示し紹介した(7/23～8/30 開催)。 【効果】当館が所蔵する 1964 年の東京オリンピックに関する資料や福井藩に関する資料を展示し、福井ならではの歴史を紹介した。(観覧者数 3,942 人)。</li> <li>○令和2年秋季特別展「北陸の古刀」 【内容】中世の越前で活躍した刀工を中心に北陸の刀工たちを紹介(10/10～11/23 開催)。 【効果】日本刀の産地として越前の地の刀工たちが残した作品について解説したことで、福井の人びとだけでなく全国の人達の関心も高く得られた。(観覧者数 11,062 人)</li> <li>○グリフィス来福 150 周年記念 令和3年春季特別展「グリフィスが見た明治の福井～The Mikado's Empire～」 【内容】明治初期に来福した化学教師グリフィスの業績と足跡を振り返る(3/20～5/9 開催)。 【効果】今日の教育県に通じる、幕末明治の福井の先見性を発信できた。(2 年度観覧者数 702 人)</li> </ul>	
その他	令和3年度予算額	令和2年度決算(見込)額
	14,610 千円 [内訳] ・報償費 1,468 千円 ・広告料 1,928 千円 ・旅費 309 千円 ・委託料 9,642 千円 ・消耗品費 250 千円 ・使用料・賃借料 ・印本費 854 千円 10 千円 ・郵便料 103 千円 ・備品購入費 46 千円	12,439 千円 [内訳] ・報償費 1,367 千円 ・広告料 1,100 千円 ・旅費 280 千円 ・委託料 7,557 千円 ・消耗品費 458 千円 ・使用料・賃借料 ・印本費 1,488 千円 14 千円 ・郵便料 126 千円 ・備品購入費 49 千円

## 9 埋蔵文化財公開・活用事業【教育委員会事務局 文化財保護課】

事業期間	平成29年度～令和3年	
事業内容	<p>地域の貴重な文化財や歴史・文化資源の保存・継承に努めるとともに、広く公開して郷土の文化遺産に対する市民の理解と意識の向上を図る。</p> <p>文化財保護センターでは発掘調査の出土品を用いた常設展示室を開設している。また、「発掘・発見・発信」をテーマに、体験学習会、展示会、情報発信を行い、市民が広く埋蔵文化財に触れ合い、学ぶ機会を創出する。</p> <p>○展示会の開催 発掘調査の成果や出土品および収蔵資料を様々なテーマで紹介する。</p> <p>○体験学習会 夏休み期間等を中心に、埋蔵文化財の発掘調査出土品を活用した土器づくり、勾玉づくり等を行う。</p> <p>○出前事業 教育施設、公民館、市民団体等を対象に、発掘調査の出土品に触れながら郷土の歴史や地域の文化財に関心を高める学習会等や勾玉づくり等を通して古代のもののづくりを体験する。</p>	
2年度実績	<p>○展示会の開催 【内容】 年 3 回の展示会のうち、コロナ禍により夏休み期間の展示会は中止し、特別開館(期間中土日開館)のみとした。 「令和2年度発掘速報展」を2月13日～3月14日の30日間開催。 「ふくコレⅡ～福井の晴れ着の民具展」を3月25日～4月4日の11日間開催。 【効果】 地域の歴史や遺跡への関心を深め、埋蔵文化財の認知度を高めることができた。 来場者数:計411人</p> <p>○体験学習会 【内容】 文化財保護センターで土器づくりなど埋蔵文化財を学ぶ各種の体験を行った。 七夕まつり、土器づくり、土器焼き、貝殻ストラップづくり、布ぞうりづくり、福井城址散策会、勾玉づくりなど13回開催。 【効果】 ものづくりを通して、文化財の理解を得ることができた。参加者数:474人</p> <p>○出前事業 【内容】 学校や公民館等へ出向き、勾玉や土器づくりおよび地域の遺跡説明などを行った。 ・学校・PTA 1校(文殊小学校) ・児童館・児童クラブ 1団体(ふじ児童館) ・公民館 5館(豊公民館ほか) ・子ども会 1団体(文殊子ども会) ・その他 9団体(ミュージアム連携WS、青少年自然の家ほか) 【効果】 地域の埋蔵文化財への関心と理解を深めることができた。 コロナ禍により開催件数が昨年度より大きく減少した。 開催件数:17回</p> <p>○その他 ・文化財保護センターはコロナ禍により4月19日～5月18日まで臨時休館。 ・令和2年度利用者数 6,692人</p>	
その他	令和3年度予算額	令和2年度決算(見込)額
	2,510千円 [内訳] ・埋蔵文化財公開・活用事業 2,510千円	2,218千円 [内訳] ・埋蔵文化財公開・活用事業 2,218千円

**10 歴史のみえるまちづくり推進事業【商工労働部 文化振興課】**

事業期間	平成8年度～	
事業内容	<p>福井市固有の歴史と文化に関する事業を行うことで、本市における住民生活の充実と豊かで潤いある個性的なまちづくりに寄与することを目指す。</p> <p>○歴史のみえるまちづくり協会助成事業 市と協同して歴史的環境の整備、保全、管理を行い、歴史的文化活動の振興と普及啓発等を行っている(公財)歴史のみえるまちづくり協会に対し運営の助成を行う。</p> <p>○歴史のみえるまちづくり普及事業 歴史講座、子ども歴史講座、歴史ボランティアガイドの配置等の各種事業を歴史のみえるまちづくり協会に委託し、実施する。</p>	
2年度実績	<p>○歴史のみえるまちづくり協会助成事業 【内容】歴史ボランティア「語り部」の育成・派遣事業、歴史パンフレットの発行、伝統行事後継者育成支援事業の外、協会の運営に携わる職員の人件費に対し助成を行った。 語り部の登録人数:67人(令和3年3月末現在) 【効果】語り部の資質向上や橘曙覧の歴史カードの発行により、歴史文化の保存・継承に寄与した。</p> <p>○歴史のみえるまちづくり普及事業 【内容】歴史講座1回、市民歴史講座10回、子ども歴史講座(歴史動画の作成)19編、歴史ツアー4回、まちなか歴史ガイドの配置(新型コロナウイルス感染拡大期を除く)を行った。 【効果】歴史講座等の参加者は351人、歴史ボランティアの案内・講演人数は2,065人で、市民の郷土歴史に対する愛情と誇りを深めることに寄与した。</p>	
その他	令和3年度予算額	令和2年度決算(見込)額
	18,428 千円 [内訳] ・歴史のみえるまちづくり協会助成事業費 17,128 千円 ・歴史のみえるまちづくり普及事業費 1,300 千円	17,892 千円 [内訳] ・歴史のみえるまちづくり協会助成事業費 16,771 千円 ・歴史のみえるまちづくり普及事業費 1,121 千円

# 11 無形民俗文化財助成事業【教育委員会事務局 文化財保護課】

事業期間	平成19年度～令和元年度(令和2年度からは福井市文化財保護事業補助事業に名称変更)			
事業内容	○無形民俗文化財助成事業 市内に所在する貴重な文化財を将来へ伝え残すため、無形民俗文化財の保存団体が行う後継者育成事業に対し、対象経費の 1/2 を助成する(上限 8 万円)。  令和元年度に福井市文化財保護事業補助金交付要綱を見直し、補助対象経費を明記し令和 2 年4月1日付で改定した。改定にあたり、これまで別の要綱で扱っていた後継者育成や公開活用についても福井市文化財保護事業補助金交付要綱で対応できるように改め一本化し、重複する内容の福井市無形民俗文化財助成金交付要綱は廃止した。  参考:市内の無形民俗文化財一覧			
	区分	名 称	保存団体	
	国指定	糸崎の仏舞 ※2年毎 睦月神事 ※4年毎	糸崎寺仏舞保存会(糸崎町) 大森睦月神事保存会(大森町)	
	国選択	国山の神事 ※4年毎	国山神事保存会(国山町)	
	県指定	馬鹿ばやし	馬鹿ばやし保存会(手寄 1 丁目)	
		花山行事	花山行事保存会(柝泉町)	
		したんじょう行事	したんじょう行事保存会(鹿俣町)	
じじぐれ祭り		じじぐれ祭り保存会(味見河内町)		
白浜町のアマメン		白浜町アマメン保存会(白浜町)		
市指定	オシッサマのお渡し	高雄神社奉賛会(高雄町)		
	免鳥夜網節	免鳥夜網節永久保存会(免鳥町)		
2年度実績	○福井市文化財保護事業補助事業(無形民俗文化財) 令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、予定されていた無形民俗文化財 7 件のうち、6 件が中止となった。開催は 1 件のみで、申請のあった後継者育成事業について補助を行った。 ・オシッサマのお渡し後継者育成事業 【内容】後継者育成・公開に係る事業を補助した。令和 2 年度は、主に行事に必要な用具の新調に係る経費について補助を行った。 【効果】10 月 10、11 日に開催され、無形民俗文化財が次世代に保存・継承された。  令和 2 年度の行事開催状況			
	区分	名 称	開催日	令和 2 年度
	県指定	馬鹿ばやし	毎年 5 月 24 日	中止
		花山行事	毎年 5 月 5 日	中止
		したんじょう行事	毎年 5 月 5 日	中止
		じじぐれ祭り	毎年 5 月 5 日	中止
		白浜町のアマメン	毎年 2 月 3 日	中止
		オシッサマのお渡し	10 月 10 日、11 日	開催
	市指定	免鳥夜網節	10 月 11 日	中止
その他	令和3年度予算額		令和2年度決算(見込)額	
	480 千円 [内訳] ・無形民俗文化財後継者育成事業 480 千円		80千円 [内訳] ・無形民俗文化財後継者育成事業 80 千円	

**12 特別展開催事業【商工労働部観光文化局 自然史博物館】**

事業期間	平成29年度～	
事業内容	常設展示だけでは伝えられない、市民が興味を持っていること、市民に知ってほしい情報、研究成果等を提供するために、企画展を開催する。	
2年度実績	<p>○春季企画展「大地を彩る石 ―煌めく鉱物の世界―」</p> <p>【内 容】当館に収蔵されている色や形の様々な鉱物標本を展示し、その美しさや多様性ととも、鉱物が持つ特性や特徴、人々の鉱物との関わりなどについて紹介した。</p> <p>【開催期間】令和2年3月20日～6月7日 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策での臨時休館(3/28、29、4/4～5/10)を含む</p> <p>【入場者数】35日間・1,889人 (4/1～6/7 27日間・1,245人)</p> <p>○夏季企画展「福井の星空から生まれた星空アート展」</p> <p>【内 容】福井で生まれた星空や宇宙をモチーフにした作品と共に、福井の星空風景を紹介、身近な星空、宇宙の魅力を伝える展示をおこなった。</p> <p>【開催期間】令和2年7月18日～9月27日</p> <p>【入館者数】66日間・4,196人</p> <p>○春季企画展「足羽三山トリペディア ～足羽山・八幡山・兎越山の野鳥大百科～」</p> <p>【内 容】足羽山、八幡山、兎越山の「足羽三山」は、市民の憩いの場として愛されているだけでなく、野鳥にとっても重要な生息環境となっている。3年間の調査結果をもとに足羽三山の野鳥について徹底的に紹介した。</p> <p>【開催期間】令和3年3月20日～5月30日</p> <p>【入館者数】10日間・974人 (3/20～3/31)</p>	
その他	令和3年度予算額	令和2年度決算(見込)額
	1,852千円 [内訳] ・消耗品費 300千円 ・印刷製本費 540千円 ・委託料 874千円 ・報償費 138千円	1,442千円 [内訳] ・消耗品費 203千円 ・印刷製本費 296千円 ・委託料 906千円 ・報償費 37千円



**13 学校図書整備事業【教育委員会 学校教育課】**

事業期間	平成18年度～	
事業内容	<p>「福井市子どもの読書活動推進計画」に基づき、文部科学省が設定する「学校図書館図書標準」の蔵書冊数に達するよう、整備を進める。</p> <p>児童生徒がより読書に親しめる環境づくりのため、学校図書館の一層の充実を図る。また、授業に役立つ調べ学習や読書活動を効果的に行うため、新刊を中心に図書の整備を行い、蔵書の新陳代謝に務める。</p> <p>教科書の改訂が約4年に1度(小学校はR2年度、中学校はR3年度)行われるため、新教科書に掲載されている図書の整備を計画的に実行する。</p>	
2年度実績	<p>【内容】</p> <p>予算の効果的な執行及び選書のスキルアップのため、H30年度より学校図書館用図書の選書会を開始した(H30年度6回、R1年度4回、R2年度2回実施)。選書会参加者は、学校での選書を主に担当する学校司書(22名)。また、夏季休業中の課題別研修の際には、教職員を対象とした選書会を実施した。</p> <p>選書会は、みどり図書館等公共図書館の新刊本を中心に蔵書を現物見本とし、図書館司書の解説を加えながら、図書館休館日に実施。各回テーマに沿った関連本の中から、各学校に不足していた冊数及び分野等の図書を選ぶ機会を設けた。小学校のテーマとして、長く読み継がれた本及びおすすめの物語・新教科書掲載図書・自然科学分野・福井関連施設等(新幹線、動物園、宇宙)を設定した。中学校のテーマとして、各教科の教科書関連本・人権・部活・国際理解・仕事体験本・科学分野等を設定した。</p> <p>【効果】</p> <p>○学校図書整備事業(小学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校図書標準冊数 R2 376,320冊 学級数 615(複式及び特別支援学級含む)</li> <li>・福井市小学校図書整備冊数 R2 439,129冊</li> <li>充足率 116.7%</li> </ul> <p>○学校図書整備事業(中学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校図書標準冊数 R2 236,880冊 学級数 275(特別支援学級含む)</li> <li>・福井市中学校図書整備冊数 R2 257,372冊</li> <li>充足率 108.7%</li> </ul> <p>小学校に続き、中学校でも令和元年度に市全体としての充足率を達成。</p> <p>児童生徒の知的好奇心に答え、豊かな心を育み、人間形成や情操を養うことに繋げるため、時代にあった図書を新刊中心に整備した。選書会において、身近な出来事や授業に関連付けたテーマを各回設定することにより、読書に対する興味を引き出すきっかけ作りとなる図書を学校図書館の蔵書とすることが出来、様々な読書機会の創出が図られた。</p>	
その他	令和3年度予算額	令和2年度決算額
	16,600 千円 [内訳] ・小学校費 9,000 千円 ・中学校費 7,600 千円	18,080 千円 [内訳] ・小学校費 9,781 千円 ・中学校費 8,299 千円

**14 キャリア教育推進事業【教育委員会 学校教育課】**

事業期間	平成29年度～	
事業内容	<p>地域・産業界の持つ教育資源を活用し、学校におけるキャリア教育の充実を図るために、学校と地域や企業をつなぐキャリア教育コーディネーターを委嘱し、キャリア教育プログラムの構築と運用、職場体験学習の支援を行う。</p>	
2年度実績	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネーターの活用実績 39件 (キャリア教育プログラム)</li> <li>・実施学級数 203学級(コロナのため実施期間は9月から翌3月まで)</li> <li>・プログラムの作成数 30種 (職場体験学習)</li> <li>・実施学級数 0校(コロナのため中止要請)</li> </ul> <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育プログラムについて、令和元年度と比較すると、実施学級が52学級減少したが、実施期間が7か月間であったため、実質的には増加したといえる。</li> <li>・児童生徒が多くの人と関わりながら直接話を聞いたり体験したりする活動が、将来について考えたり、職業についての理解を深めたりする上で、大変有意義であった。</li> </ul>	
その他	令和3年度予算額	令和2年度決算(見込)額
	456千円 [内訳] ・報償費 456千円	344千円 [内訳] ・報償費 344千円

**15 いきいきサポーター配置事業【教育委員会 学校教育課】**

事業期間	平成14年度～	
事業内容	<p>児童生徒が抱える学校生活上の様々な問題について、個別に指導、相談、支援を行う支援員を配置する。</p> <p>小学校では、主に授業中に気がかりな児童のそばについて、担任の指示を個別に支援する。</p> <p>中学校では、主に相談室登校の生徒の話し相手や学習支援を行う。</p>	
2年度実績	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サポーター 85 名 67 校配置(1 人 2 校兼務、1 校 2 人配置等あり)</li> </ul> <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援を必要とする児童生徒に寄り添い、担任による一斉指導を補うことで、学習効果が高まった。</li> <li>・児童生徒の学校生活をサポートすることで、安心感を与えたり登校意欲を高めたりする効果があった。</li> </ul>	
その他	令和3年度予算額	令和2年度決算額
	157,607 千円 [内訳] ・報酬 126,672 千円 ・特別給 26,740 千円 ・旅費(通勤手当) 4,195 千円	156,541 千円 [内訳] ・報酬 129,078 千円 ・特別給 23,795 千円 ・旅費(通勤手当) 3,668 千円



## 16 学校防災体制事業【教育委員会事務局 保健給食課】

事業期間	平成29年度～(事業開始年度不詳のため、7次総合計画の事業期間で記載)	
事業内容	<p>学校保健安全法に基づき、全小中学校の児童・生徒が、安全教育や避難訓練等を通して、災害から身を守る対処の仕方について学び、児童生徒自ら安全な行動ができる力の育成に努める。また、沿岸部に位置する学校では津波対応避難訓練を実施する。これらのことについて、確実に実施するよう保健給食課で学校への指導を行うとともに、実施報告を求めている。</p> <p>○学校安全年間指導計画の作成(学校保健安全法 第 27 条) 各学校において毎年度、安全に関する具体的な実施計画を作成する。</p> <p>○学校の危機管理マニュアルの作成(学校保健安全法 第 29 条第 1 項) 学校管理下で危険等が発生した際、危機管理を具体的に実行するための必要な事項や手順等を示した危機管理マニュアルを各学校単位で毎年度見直し、作成する。</p> <p>○避難訓練の実施(学校保健安全法 第 29 条第 2 項) 各学校において、地震や火災などの自然災害等を想定した避難訓練を行う。</p> <p>○津波対応避難訓練の実施 沿岸部の学校で、津波被害を想定した訓練を行う。</p>	
2年度実績	<p>○学校安全年間指導計画の作成 【内容】全小中学校において、4 月に作成済み 【効果】年間を通して、計画的に防災訓練や安全教育が実施できた。</p> <p>○学校の危機管理マニュアルの作成 【内容】全小中学校において、4 月に作成済み 【効果】危険等発生時に児童生徒の生命や身体を守るため具体的にどのような対応をとるのか、教職員の役割分担等、各学校において検討できた。</p> <p>○避難訓練の実施 【内容】市内全小中学校 73 校で実施 【効果】地震や火災等の災害時に実際にとるべき行動を児童生徒及び教職員が確認できた。 (新型コロナウイルス感染症の感染拡大を考慮し、密を避けるため、学校一斉での訓練ではなく、学年別で実施した学校もあった。)</p> <p>○津波対応避難訓練の実施 【内容】4 校(国見小、国見中、長橋小、越廬中)で実施(津波浸水が想定される区域に立地) 【効果】津波が発生した場合の避難経路、避難に要する時間等を確認できた。</p> <p>○学校防災アドバイザーの派遣 【内容】9 校で実施(足羽小、東安居小、湊小、春山小、順化小、宝永小、松本小、光陽中、明道中) 県の事業を活用し、防災士などの学校防災アドバイザーを派遣し、避難訓練の実施方法や各学校の「危機管理マニュアル」の見直しについて、指導・助言を行う。 【効果】専門的な立場の方からの助言等により、実践的な避難訓練の実施や、学校における防災教育や防災管理の充実を図ることができた。</p>	
その他	令和3年度予算額	令和2年度決算額
	20 千円 学校安全総合支援事業(県の委託事業) ・報償費 20 千円	0 千円 学校安全総合支援事業(県の委託事業) ・報償費 0 千円 (新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、書面会議で対応したため)

# 17 運動部活動地域連携推進事業、トップアスリート技と心の事業

## 【教育委員会事務局 保健給食課】

事業期間	平成16年度～	
事業内容	<p>中学生のスポーツ活動への興味・関心を高めるとともに、競技力向上を図るため、指導者の部活動への派遣やトップアスリートの実技講習会等を開催する。</p> <p>○運動部活動地域連携推進事業</p> <p>競技経験や指導経験の浅い顧問が担当する中学校の運動部活動等に、専門的な技術指導ができる地域スポーツ指導者を配置することにより、生徒への技術指導の充実を図る。</p> <p>（指導者への報償費 1 回あたり上限 2,000 円、うち 3 分の 1 県補助金）</p> <p>○トップアスリート技と心の事業</p> <p>中学生を対象に、日本を代表するトップアスリートや一流指導者による実技講習会を開催する。なお、財政再建に伴う事業見直しにより、令和元年度からこの事業は廃止し、予算規模を大幅に縮小して部活動活性化事業の中で、引き続き同様の事業を実施している。現在は顧問教員のつながりを活用したり、企業に協力を求めたりしながら、なんとか講師の確保に辿り着いているが、無償ボランティアとなるため、子どもたちや顧問教員が期待するような一流講師の確保が大変難しく、今後は開催が危ぶまれる。</p>	
2年度実績	<p>○運動部活動地域連携推進事業</p> <p>【内容】外部指導者の配置希望があった 15 中学校に対し、柔道、ハンドボール、野球など、延べ 40 の部活動に各 1 名の地域の指導者を配置し、生徒への指導にあたっていた。指導回数は、年間 1,129 回で、平均で1部活動あたり約 28 回の指導を行った。</p> <p>【効果】福井地区大会だけでなく、県大会や北信越大会での入賞や全国大会に出場した部活動（個人含む）もあった。また、技術指導だけでなく、学校生活やマナーに関する指導も行われ、人格形成の一助になっている。部活動指導に関する教員の技術指導面での負担軽減にもつながった。</p> <p>○部活動活性化事業（「トップアスリート技と心の事業」と同様の内容で引き続き実施）</p> <p>【内容】ハンドボールのトップアスリートを講師に招き、教室を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、計画段階で中止になった。</p> <p>また 2 月 28 日にも、オリンピック・パラリンピック等経済界協議会の協力のもと、陸上教室を予定していたが、同様にやむをえず中止した。</p>	
その他	令和 3 年度予算額	令和 2 年度決算額
	<p>3,186千円</p> <p>[内訳]</p> <p>運動部活動地域連携推進事業 3,110千円</p> <p>トップアスリート関係 76千円</p>	<p>2,258 千円</p> <p>[内訳]</p> <p>運動部活動地域連携推進事業 2,258 千円</p> <p>トップアスリート関係 0 千円</p>

**18 子どもの健康を育む総合食育推進事業【教育委員会事務局 保健給食課】**

事業期間	平成24年度～平成30年度	
事業内容	<p>学校、家庭、地域と連携し、食育推進事業を実施することにより、食育の充実を図る市内幼小中学校に補助金を交付する。</p> <p>【対象事業】 食育学習会・体験活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食育学習会 子どもの健康と望ましい食習慣、各地域の産物、食文化等の理解、教職員の食に関する指導力の向上を促進することをねらいとした講演会、学習会。</li> <li>・体験活動 料理教室 子どもの健康と望ましい食習慣の形成、地域の郷土料理や伝統料理に関する料理教室。 体験学習活動 食料の生産、流通等の施設を訪問し、生産と消費の結びつきを理解するとともに、食への関心を高める体験活動。生産・収穫したものを学校給食の食材とする活動。</li> </ul> <p>【対象経費】 報償費、消耗品費、食糧費、交通費、体験料 等</p> <p>【補助金額】 1事業上限3万円(平成30年度 決算額60万円)</p> <p>【対象事業例(平成30年度)】 野菜の栽培活動、魚さばき教室、味噌づくり体験、食品加工工場見学 等</p>	
2年度実績	<p>県の「ふくいの地場産学校給食推進事業(農業体験活動)」が平成30年度から開始され、事業内容が類似しているため、令和元年度から本事業廃止。</p>	
その他	令和3年度予算額	令和2年度決算額
	0 千円	0 千円

# 19 地域に生きる学校づくり推進事業【教育委員会 学校教育課】

事業期間	平成18年度～	
事業内容	<p>教育活動を地域に公開する中で、学校、家庭、地域が一体となって子どもたちの教育について考え、行動する機運を高める。</p> <p>○地域に生きる学校づくり推進事業補助金 特色ある教育活動を展開するため、各学校の実態に応じて具体的な取組を立案し、体験活動の充実や地域の人材活用の推進、「保、幼、小、中」の交流等を実施するための費用の補助</p> <p>○教育ウィークポスター制作 教育ウィーク(学校公開週間)の実施期間周知のためのポスター制作</p> <p>○中学校サミット開催事業 各中学校の生徒代表が集まり、自校の活動の発表やテーマに基づき意見交換を行う。</p> <p>○道徳教育総合推進事業「親子で学ぶ道徳講座」 親子で一緒に道徳の授業を受けたり、授業を地域に移して行うなど、地域や親子のコミュニケーションを深め、道徳的価値の交流を図る。</p>	
2年度実績	<p>○地域に生きる学校づくり推進事業補助金 【内容】学校規模や中学校区連絡会担当校などを考慮し、補助金を算定し交付 【効果】全小中学校において、特色ある活動を実施することで、学校、家庭、地域との交流を図ることができた。</p> <p>○教育ウィークポスター制作 新型コロナウイルス感染対策のため中止</p> <p>○中学生サミット開催事業 新型コロナウイルス感染対策のため中止</p> <p>○道徳教育総合推進事業「親子で学ぶ道徳講座」 新型コロナウイルス感染対策のため中止</p>	
その他	令和3年度予算額	令和2年度決算(見込)額
	<p>25,455 千円 [内訳] 地域に生きる学校づくり推進事業補助金 25,000 千円 教育ウィークポスター制作 50 千円 中学校サミット開催事業 5 千円 道徳教育総合推進事業「親子で学ぶ道徳講座」 400 千円</p>	<p>24,460 千円 [内訳] 地域に生きる学校づくり推進事業補助金 24,460 千円 教育ウィークポスター制作 0 千円 中学校サミット開催事業 0 千円 道徳教育総合推進事業「親子で学ぶ道徳講座」 0 千円</p>

**20 青少年交流事業【教育委員会事務局 青少年課】**

事業期間	平成7年度～	
事業内容	<p>姉妹都市(熊本市)・友好都市(結城市)と本市の小学生が、友好事業の一環として、相互訪問による交流プログラム(郷土学習、体験学習、宿泊学習など)を通じ、互いの都市の歴史・文化に対する理解と友好を深める。</p> <p>○熊本市姉妹都市青少年交流事業(平成7年度～) 【委託先:福井市子ども会育成連合会】</p> <p>○結城市友好都市子ども親善大使交流事業(平成14年度～) 【委託先:福井市子ども会育成連合会】</p>	
2年度実績	<p>○熊本市姉妹都市青少年交流事業 【内容】「新型コロナウイルス感染防止」のため、人的交流は中止。 代替として、過去10年の交流事業参加者による「オンライン交流会」を令和2年11月8日に実施。(出席者:福井市 13名、熊本市 11名) 第1部「交流25年を振り返る」 第2部「コロナショックの今、もし大災害が起こったら」 【効果】コロナ禍の中での新たな取組として、今後の交流事業に活かせるヒントを得た。</p> <p>○結城市友好都市子ども親善大使交流事業 「新型コロナウイルス感染防止」のため、交流事業を中止した。</p>	
その他	令和3年度予算額	令和2年度決算額
	1,517 千円 [内訳] ・熊本市姉妹都市青少年交流事業 委託料 847 千円 ・結城市友好都市子ども親善大使交流事業 委託料 670 千円	305 千円 [内訳] ・熊本市姉妹都市青少年交流事業 委託料 305 千円



**21 家族ふれあいタイム推進事業【教育委員会事務局 青少年課】**

事業期間	平成 21 年度～	
事業内容	<p>家族みんなの心がふれあう明るい家庭づくりを推進するとともに、子どもたちの心身ともに健やかな成長を目指す。</p> <p>○「家族ふれあい」絵手紙コンクール事業</p> <p>「家族のふれあい」をテーマ(家族と一緒に過ごした楽しい時間、家族への感謝の気持ちなど)とした絵手紙コンクールを実施し、優秀作品の展示を通して意識啓発を図っている。</p> <p>応募資格:福井市内の小学校、中学校、高等学校に通学する児童・生徒とその家族 福井市内に住む人、通学・通勤する人</p>	
2年度実績	<p>○家族ふれあい絵手紙コンクール事業</p> <p>【内容】募集期間:6月下旬～9月7日</p> <p>応募数:3,463点</p> <p>審査会:入賞作品80点を選出</p> <p>表彰式:11月8日(ハピリン)</p> <p>作品展示:11月7日～8日(ハピリン)</p> <p>11月12日～15日(ベル)</p> <p>11月18日～20日(中央郵便局)</p> <p>11月27日～12月6日(県ふるさと文学館)</p> <p>【効果】夏休みの課題としても定着してきており、また、家族連れがより多く集まる量販店を会場として入賞作品を展示したことで、家庭におけるコミュニケーションの大切さを広く呼びかけることができた。</p>	
その他	令和3年度予算額	令和2年度決算額
	206 千円 [内訳] ・報 償 費    55 千円 ・消 耗 品 費    6 千円 ・印刷製本費   140 千円 ・筆耕翻訳料    5 千円	200 千円 [内訳] ・報 償 費    60 千円 ・消 耗 品 費    5 千円 ・印刷製本費   130 千円 ・筆耕翻訳料    5 千円

**22 少年自然の家管理運営事業【教育委員会事務局 青少年課(少年自然の家)】**

事業期間	昭和 56 年度～	
事業内容	<p>「少年自然の家」は、自然環境の中で行う集団宿泊訓練、野外活動、自然観察などを通じて、青少年の健全育成を図ることを目的として設置された施設である。</p> <p>令和 3 年 4 月 1 日より、当該施設の管理運営に民間の経営手法を活用し、利用者へのサービスの向上と管理運営の効率化を図るため、「指定管理者制度」を導入した。</p>	
2年度実績	<p>○「少年自然の家」の運営</p> <p>＊県の要請により、4月5日から6月30日まで、新型コロナウイルス感染者(軽症及び無症状者)の一時療養施設として提供した。</p> <p>＊7月1日以降、宿泊定員を通常の50%(102人)を上限としている。</p> <p>・受入れ事業</p> <p>【内容】市内小学校等の宿泊学習、子ども会やスポーツ少年団等が実施する野外活動や合宿等の受入れを行っている。また、一乗谷朝倉氏遺跡でのクイズラリーなど、立地を活かした体験プログラムを提供している。</p> <p>【効果】新型コロナウイルス感染拡大を防止するための対策に重点を置きながらも、各団体の要望に沿ったプログラムを提供することができた。</p> <p>宿泊学習等(幼児団体・小学校):11件(635人)</p> <p>各種団体合宿等(宿泊):16件(1,179人)</p> <p>・主催事業</p> <p>【内容】自然素材を用いた工作や、周辺環境を生かした体験プログラムなど、常に新たな要素を取り入れた講座を開催している。</p> <p>体験講座:3回(87人)</p> <p>【効果】自然豊かな環境のもと、親子が協力してクラフト活動や自然観察を行うことにより、家族の絆が深まり、豊かな感性が育まれる。</p> <p>満足度:100%(参加者アンケート結果より)</p> <p>○「少年自然の家」の管理</p> <p>【内容】施設の小規模工事及び修繕</p> <p>【効果】大雪の影響で倒れたフェンスの撤去や、トイレの洋式化など、利用者が安全かつ快適に過ごせる空間を提供することができた。</p>	
その他	令和3年度予算額	令和2年度決算(見込)額
	53,790 千円 [内訳] ・委託料(指定管理料) 53,790 千円	14,478 千円 [内訳] ・少年自然の家運営費 5,249 千円 ・少年自然の家管理費 9,229 千円

# **23 公民館運営事業【教育委員会事務局 生涯学習課】**

事業期間	昭和21年度～		
事業内容	・市民の多様な学習ニーズに応え、地域課題の解決に向けた取組を進めるため、中央公民館及び地区公民館では各種教育事業や講座を開催している。		
		事業区分	(参考)主な学習内容
	1	家庭教育事業	家庭教育の支援のための学習
	2	少年教育事業	青少年の健全育成のための学習
	3	青年教育事業	若者の地域参画や青年グループの活性化及び組織化を促すための学習
	4	福井学事業	郷土の歴史や文化を再認識し、誇りや魅力発信につなげるための学習
	5	健康長寿事業	豊かな健康・長寿社会の実現のための学習
		男女共同参画促進事業	男女共同参画社会づくりのための学習
		多文化共生促進事業	多文化共生社会づくりのための学習
		環境教育事業	環境への理解を深め、意識高揚を図るための学習
		防犯防災教育事業	防犯防災による安全安心な地域づくりのための学習
		人材育成事業	豊かな地域づくりにつながる人材育成のための学習
		市民IT事業	豊かな地域づくりに資するIT技術習得のための学習
		伝統文化伝承事業	地域の特色ある伝統文化を伝承・発展させるための学習
		その他の地域課題解決事業	上記のほか、地域の課題解決を目的とした学習
	・850 団体を数える自主グループの活動を支援している。 ・地区公民館を拠点として、自治会、PTA、スポーツ振興会、壮年会、婦人会、社会福祉、地域づくりなど社会教育活動を含めた多様な地域活動が行われており、公民館主事は地域のコーディネーターとして地域活動を支援している。		
2年度実績	・公民館利用実績		
	区分	実績	
	教育事業	利用回数(回)	利用人数(人)
	公民館が企画する会議・研修等	2,117	32,188
	自主グループ	1,073	16,676
	公民館が他団体と共催する事業	18,224	165,082
	団体が開催する事業・会議	1,385	22,098
	合 計	10,049	113,168
その他	令和3年度予算額		令和2年度決算額
	109,084 千円 [内訳] ・管理費交付金 68,674 千円 ・運営費交付金 17,279 千円 ・教育事業交付金 23,131 千円		105,913 千円 [内訳] ・管理費交付金 70,837 千円 ・運営費交付金 15,849 千円 ・教育事業交付金 19,227 千円



**24 福井学推進事業【教育委員会事務局 生涯学習課】**

事業期間	平成19年度～							
事業内容	<div>・平成18年1月30日「福井学創り懇話会」からの福井学基本構想案を受け、3月1日に“「福井学」推進構想”を策定し、平成19年度から本格的に「福井学」推進事業を展開した。</div> <div>・事業の目的は、市民一人ひとりが福井人として、改めて福井市の事象に関する学習を通じて福井らしさを再発見し、福井市をもっと好きになることにより、誰もが住みたくなるような「市民が主体となった心豊かな地域社会」の実現を目指す。</div> <div>・公民館の教育事業の中で、必須事業として実施している。</div> <div>・令和元年度からは「郷土学習＝福井学」と整理した。</div> <table><tr><td>実施主体</td><td>事業名</td></tr><tr><td>中央公民館</td><td>「福井学」学習センター事業</td></tr><tr><td>地区公民館</td><td>福井学事業</td></tr></table> <div>※「福井学推進事業」は「福井学事業」として、令和元年度から23公民館運営事業に統合した</div>		実施主体	事業名	中央公民館	「福井学」学習センター事業	地区公民館	福井学事業
実施主体	事業名							
中央公民館	「福井学」学習センター事業							
地区公民館	福井学事業							
2年度実績	<div>○〔中央公民館の事業〕</div> <div>・「福井学」学習センター事業 19回</div> <div>・参加者総数 460人</div> <div>〔内 容〕</div> <div>・「福井のあべかわ餅」</div> <div>・「グリフィス日本史 アメリカに眠る志士」</div> <div>・「福井の技シリーズ ～レクサスコレクションに採用された濡れない高級洋傘～」</div> <div>・「実践発表～自伐型林業で殿下の復活にチャレンジ～」</div> <div>・「江戸庶民の暮らし」</div> <div>・「文学講座 俳句編」等</div> <div>○〔地区公民館の事業〕</div> <div>・47地区公民館で実施(49地区中、2地区は新型コロナウイルスの影響で中止)</div> <div>・参加者数 3,863 人</div> <div>〔内 容〕</div> <div>・福井の歴史を学ぶ、伝統野菜の栽培、歴史探訪ウォーキング、ふるさとの宝探し、郷土料理教室 等</div> <div>○〔学習成果展示会〕</div> <div>・公民館の令和元年度の取組をパネル展示により情報発信</div> <table><tr><td>日時</td><td>R02.7.8～7.14</td></tr><tr><td>場所</td><td>ボランティアセンター</td></tr></table>		日時	R02.7.8～7.14	場所	ボランティアセンター		
日時	R02.7.8～7.14							
場所	ボランティアセンター							
その他	令和3年度予算額	令和2年度決算額						
	2,445 千円 教育事業交付金(福井学)	2,094 千円 教育事業交付金(福井学)						

## 25 スポーツ推進事業【教育委員会 スポーツ課】

事業期間	平成29年度～
事業内容	<p>スポーツ団体の活性化や指導者の育成、スポーツ教室の開催など、誰もが生涯にわたりスポーツを楽しめる環境の充実に努める。</p> <p>○スポーツ(体育)団体等育成事業</p> <p>・スポーツ(体育)協会育成事業 ・スポーツ推進委員協議会育成事業 ・レクリエーション協会育成事業</p> <p>○優秀選手等育成事業 激励費及び優勝等報奨金の授与</p> <p>○生涯スポーツ推進事業 スポーツ教室(体操教室)やファミリーミニマラソン大会の開催</p> <p>○各種スポーツ大会支援事業 全国レベルの大会開催への支援</p> <p>○学校プール開放事業 学校プールの夏季休業期間中の開放</p>
2年度実績	<p>○スポーツ(体育)団体等育成事業</p> <p>・スポーツ(体育)協会育成事業 (令和2年度 市スポーツ協会加盟団体:97 団体)</p> <p>【内容】市民スポーツ大会や各種スポーツ大会の開催をはじめ、地域スポーツ活動への支援 (令和2年度 種目別スポーツ事業:83 事業の内 34 事業実施、地区スポーツ(体育)団体活動支援:49 団体、市民スポーツ大会・地区スポーツ大会中止)</p> <p>【効果】市民の健康増進と競技力の向上、さらに地域の絆にも繋がっている。</p> <p>・スポーツ推進委員協議会育成事業 (令和2年度 市スポーツ推進委員:136 人)</p> <p>【内容】気軽に楽しめるニュースポーツの普及に向けた、実技研修会や大会、教室等を開催 (令和2年度 実技研修会:4 回、出前講座:14 回、スポフェス:中止)</p> <p>【効果】市民の健康と体力の向上に繋がっている。</p> <p>・レクリエーション協会育成事業 (令和2年度 オリエンテーリング参加者数:65 名)</p> <p>【内容】オリエンテーリング(足羽山・文珠山)の取組に向けた支援</p> <p>【効果】自然を満喫しながらの健康増進と体力の向上に繋がっている。</p> <p>○優秀選手等育成事業 (令和2年度 実績なし)</p> <p>【内容】国際大会に出場する市内在住等選手への激励費の授与、さらに上位 3 位以内の入賞者に優勝等報奨金を授与</p> <p>【効果】競技スポーツの活性化とスポーツの振興が図られている。</p> <p>○生涯スポーツ推進事業</p> <p>【内容】スポーツ教室(体操教室)やファミリーミニマラソン大会の開催 (令和2年度 スポーツ教室(秋の体操教室)参加者:延べ 1,854 名、マラソン大会中止) ※春の体操教室中止⇒代替事業(健康体操の動画配信)</p> <p>【効果】子どもから高齢者まで気軽に参加できる事業として、生涯スポーツの推進に繋がっている。</p> <p>○各種スポーツ大会支援事業 (令和2年度 実績なし)</p> <p>【内容】全国レベルの大会開催への支援</p> <p>【効果】競技力の向上とスポーツ振興に繋がっている。</p> <p>○学校プール開放事業 (令和2年度 中止)</p> <p>【内容】市内の全小中学校のプールを夏季休業期間中(7/21～8/7)に開放</p> <p>【効果】水泳に親しむ機会の提供、体力・健康の増進が図られている。</p>

	令和3年度予算額	令和2年度決算(見込)額
その他	69,942 千円	38,795 千円
	[内訳]	[内訳]
	体育団体等育成事業	体育団体等育成事業
	・体育協会育成事業 58,728 千円	・体育協会育成事業 37,011 千円
	・スポーツ推進委員協議会育成事業(委員報酬) 1,572 千円	・スポーツ推進委員協議会育成事業(委員報酬) 1,344 千円
	・レクリエーション協会育成事業 0 千円	・レクリエーション協会育成事業 25 千円
	優秀選手等育成事業 450 千円	優秀選手等育成事業 0 千円
	生涯スポーツ推進事業 1,281 千円	生涯スポーツ推進事業 415 千円
	各種スポーツ大会支援事業 430 千円	各種スポーツ大会支援事業 0 千円
	学校プール開放事業 7,481 千円	学校プール開放事業 0 千円